

● レアンカ新内閣の成立(30日)

1. 内政

▼新与党連合に向けた動き

・27日以降、自由民主党、民主党及び自由党改革派グループは、与党連合結成に向けた協議を継続。27日、ルプ民主党党首は、同党は議会議長選出を条件に新内閣を信任する旨発言。同日、ギンプ自由党党首は、同党は新内閣を信任しない意向を表明。

・30日、フィラト自由民主党党首、ルプ民主党党首及びハダルカ自由党改革派グループ代表は、新与党連合結成に関する合意に署名。

▼レアンカ新内閣の成立(30日)

・29日、首班に指名されたレアンカ首相代行は、欧州統合路線の堅持、雇用の創出、汚職との闘い、経済成長、司法及び治安担当機関改革等を柱とする政府行動計画案を発表。

・30日、議会は、コルマン議員(民主党副党首)を議長に、カンドゥ議員(民主党)及びボドルグ議員(自由党改革派グループ)を副議長に選出。

・30日、ティモフティ大統領は、議会において演説し、新内閣の成立がモルドバの欧州統合過程を継続するための唯一の手段である旨強調し、レアンカ首相候補は、閣僚名簿及び新政府行動計画案を議員に提示。同日、議会は、レアンカ首相候補(首相代行、自由民主党第一副党首)が提示した閣僚名簿及び新政府行動計画案を自由民主党、民主党、自由党改革派グループ及び一部の無所属議員58名の賛成をもって承認し、レアンカ新内閣が成立。新内閣の構成は、レアンカ首相(自由民主党)、ラザル副首相兼経済相(民主党)、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相(無所属)、カルポフ国家再統合担当副首相(無所属)、ポティング社会問題担当副首相(自由党改革派グループ)、ネグルツァ財務相(自由民主党)、エフリム司法相(自由民主党)、レチャン内務相(自由民主党)、マリヌツァ国防相(自由党改革派グループ)、レドゥカン地域発展・建設相(民主党)、ブマコフ農業・食品産業相(自由民主党)、ポトナリ運輸・交通インフラ相(民主党)、シャルル環境相(自由党改革派グループ)、サンドゥ教育相(自由民主党)、バプク文化相(民主党)、ブリガ労働・社会保障・家族相(民主党)、ウサトゥイ保健相(自由民主党)、

フィリップIT・通信相(民主党)、ボディシュチャヌ青年・スポーツ相(自由党改革派グループ)。

・31日、ティモフティ大統領は、憲法及び議会による信任に基づき内閣の任命に関する命令に署名。同日、レアンカ新内閣の閣僚は宣誓を実施。

2. 経済

▼IMF

・29日、ミルゾエフIMFモルドバ事務所代表は、6月中旬までにモルドバ新政府が発足した場合、対モルドバ新協力プログラム協議のため、IMFミッションがモルドバを訪問するだろうと発言。

▼対モルドバ支援

・29日、モルドバ政府と世界銀行国際開発協会(IDA)は、2012年の干ばつ被害対策として、IDAが1,000万ドルの融資を行う合意に署名。

3. 外政

▼プロタセヴィチ欧州議会副議長の来訪

・27日、レアンカ首相代行及び元与党連合代表は、来訪したプロタセヴィチ欧州議会副議長とそれぞれ会談を実施。同副議長は、モルドバは連合協定、自由貿易協定及び査証免除協定署名の機会を逃さないために各政治勢力が新内閣結成に向け協力する必要がある旨発言。

▼その他

・31日、レアンカ首相は、新内閣が承認されたことにより今秋に連合協定が仮署名される可能性は著しく高まった旨発言。

4. 沿ドニエストル

・26日、ティラスポリにおいて初の「欧州の日」の祭典が開催され、シュタンスキ「外相」及び駐モルドバの欧州各国大使等が参加。

・28日、カルポフ国家再統合問題担当副首相代行は、キシナウのOSCE事務局において沿ドニエストルのシュタンスキ「外相」との会合を実施し、「5+2」者会合の議題に含まれなかった安全地帯内の状況及び同地帯内の犯罪対策等に関し協議。ブラーシュ駐モルドバOSCE大使は、23、24両日の「5+2」者公式会合での合意に基づく同協議の実施を歓迎する旨の声明を発表。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。(了)